

令和5年台風2号豪雨災害

# 活動報告書

しぞ〜か・まめっ隊

# しぞ〜か・まめっ隊とは

## Volunteer Team

令和4年台風15号による豪雨災害において静岡市災害ボランティアセンターにて活動していたボランティアを中心に結成。県外NPO団体が対応していた技術系ニーズを地元でも対応できるようにと床下作業を行い始めたのを機に浸水した家屋の再生ノウハウを県外NPO団体から継承していく。また技術だけでなく「人」をしっかりと見ることを大事にし、足湯などのサロン活動も行っている。



### 団体データ

団体名：しぞ〜か・まめっ隊  
代表者：千代 幸嗣  
所在地：静岡県静岡市  
設立：2023年  
メンバー数：約15人

# 令和5年台風2号災害概要

## (沼津市)

静岡県では令和5年6月2日から3日にかけて記録的な大雨となり沼津市内の原地区などで浸水被害が発生し住居などに被害が出ました。



静岡新聞より

床上浸水

104棟

床下浸水

79棟

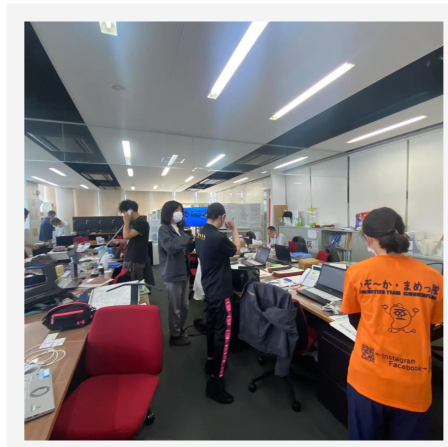
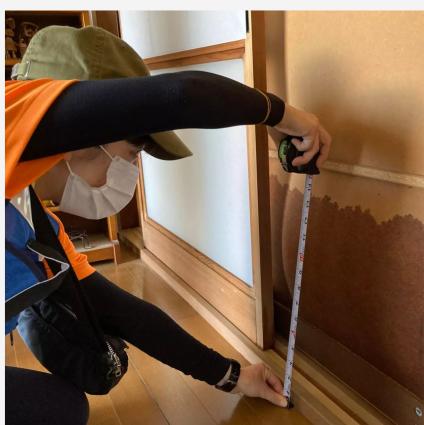
静岡県発表

# 活動報告①

6月3日夕に静岡県ボランティア本部が開催した情報共有会議の場において、富士市社会福祉協議会と沼津市社会福祉協議会から技術系ボランティアの派遣要請がありました。その場にいた代表の千代と災害対応NPO MFPの松山氏と調整をした結果、しぞ〜か・まめっ隊は沼津市の支援に入ることになりました。



翌4日から沼津市社会福祉協議会に入り支援活動を開始。まずは社協職員とともに被災現場へ出向き状況を調査。並行してボランティアセンターの立ち上げ支援を行いました。



## 活動報告②

ボランティアセンター立ち上げ直後から技術系ニーズ（主に床下の確認、水抜き、乾燥）が多く寄せられ、全力で対応してきました。

我々の手持ちの資機材では到底足りませんでしたので沼津市社会福祉協議会や県災害ボランティア本部などから不足品の調達をして頂きました。



まめっ隊だけで対応できる災害規模ではありませんでしたので他団体と協働しながら対応しました。また県内のボランティアのコーディネートも行いました。

### 【協働して頂いた団体】

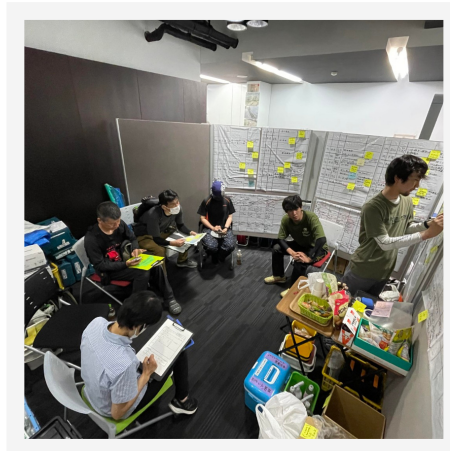
河津桜ボランティアセンター、DRT SHIZUOKA、しずおか茶の国会議、災害対応NPO MFP、災害救援レスキューアシスト、災害ボランティア愛・知・人、藤岡災害ボランティアサークル 他



# 活動報告③

今回沼津市へ支援に入るにあたり意識した点があります。2年前にも同じようなエリアで同じような災害が発生していることから今後、また同じような災害が発生した際に沼津市の方を中心にして対応できるようにノウハウを引き継いでいくこと。

我々、技術系チームで対応を丸抱えすることがないように沼津市社会福祉協議会と一緒に対応に当たるようにしました。毎日のミーティングでは一緒に進捗確認をし翌日の調整なども社協の方をお願いをしました。また一緒に床下に入ってくれる職員もいました。



沼津市社会福祉協議会の方で沼津市やその近隣にお住いの方と一緒に床下対応をやってくれるボランティアさんを募集してもらいました。我々ではなく社協の方で集めてもらうことで今後もつながりを持ってもらい今後、何かあった際に対応をお願いできるような関係性を残すためです。

中学生や高校生も参加していただき我々のノウハウをお伝えしました。



# 活動報告④

8月19日に原地区社会福祉協議会の主催で行われた福祉講演会に講師としてお声がけ頂きました。ボランティアについてや浸水後の対応方法などをお話しここから新規ニーズにつながることもありました。また支援に入ったお宅の方と再会し、その後の様子を伺うことが出来ました。また11月17日には沼津市社会福祉協議会の職員向け研修にもお声がけ頂き、今回の対応を振り返り今後に向けた課題などを共有しました。



## 活動データ

活動日数：55日以上

活動人数：のべ155人以上

コーディネートしたボランティア数：約100人

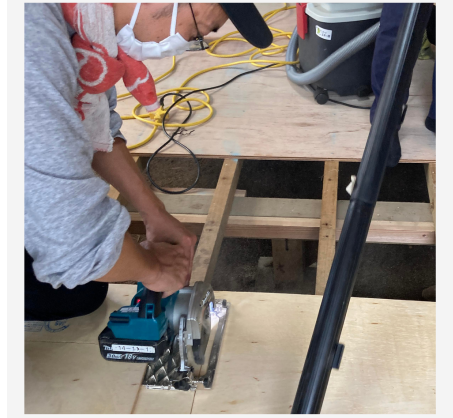
対応ニーズ数：100件以上

# 助成金について

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

今回の支援活動では日本財団様より「令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号に関わる支援活動」の助成金を頂きました。

現地で使用する車両や資機材、交通費に利用させて頂くことで長期間にわたり丁寧な活動をする事が出来たと思っています。ご支援頂きありがとうございました。





# 最後に

令和4年の台風15号の災害以外で初めて外部支援者として沼津市に入りました。しぞ〜か・まめっ隊として経験のないことでしたのでどこまで出来るかご迷惑をおかけしないか不安でしたが協働して頂いた団体の皆様を始め後方支援をして頂いた県災害ボランティア本部、そして何より大変な中、我々が円滑に活動できるようにして頂いた沼津市社会福祉協議会の職員の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

まだ災害対応が完全に終わったわけではありません。今後もお手伝い出来ることがあればすぐに駆け付けていきたいと思えます。

最後になりましたが被災された皆様にお見舞い申し上げるとともに一日も早く元の暮らしに戻るよう今後も応援していきます。

## メディア掲載

●静岡朝日テレビ

●静岡新聞

●静岡だいいちテレビ



前編

後編

ボランティア「まめっ隊」 「技術系支援」で力に  
大雨で住宅浸水の沼津 難作業で存在感

2023.6.10

昨年9月の台風15号豪雨で被災した静岡市清水、葵両区の住民を支援するため、静岡県中部のボランティア有志で結成した任意団体「しぞ〜か・まめっ隊」が、梅雨前線と台風2号による記録的な大雨で浸水被害を受けた沼津市の現場で活動している。経験を生かして一般ボランティアには難しい床下での作業を担い、県内では数少ない“技術系ボランティア”として存在感を発揮している。



送風機を設置するため、浸水被害を受けた住宅の床下に入るまめっ隊のメンバー＝7日午前、沼津市原



しぞ〜か・まめっ隊

代表

千代 幸嗣

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# THANK YOU!